

第2回 精華中学校校舎改築等検討委員会 会議録

名 称	精華中学校校舎改築等検討委員会【第2回】	
開 催 年 月 日	平成24年11月14日（水）	
開 催 時 間	午前10時00分～午後12時15分	
開 催 場 所	精華町立図書館 1階 集会室（精華町役場内）	
出席者名	委 員	（出席委員） 三井田康記、田中智美、針谷みさゑ、喜多俊夫、畑喜知、 谷清年、安倉敏代、土屋満、江本康宣、木原國夫 （欠席委員）浜中さゆり
	事務局	（事務局） 太田教育長、永井総括指導主事、竹島学校教育課長、 吉田主幹、水口主事 （事務局補佐－株式会社福本設計） 木村設計部長、木村聡、岡田輝
傍 聴 人	2名	
配 布 資 料	資料1 「基本理念（案）について」 資料2 「配置計画（案）について」 資料3 「施設構成（案）について」 資料4 「事例視察先（案）について」	
議 事 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会行事（教育長挨拶） 2. 第1回検討委員会議事録の確認及び承認について 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> ① 基本理念の再確認及び承認について ② 配置計画の提案と審議について ③ 施設構成の提案と審議について ④ 事例視察先の提案と審議について 4. 第3回委員会の日程について 平成24年12月19日（水）PM1:30～ 町立図書館 1階 集会室 5. 閉会挨拶 	
会 議 の 経 過	別紙のとおり	

1. 開会

①委員長による開会宣言

②教育長挨拶

・配置計画、施設構成、事例の視察について提案。

2. 第1回検討委員会議事録の確認

各委員の確認により承認。

3. 議 題

①【基本理念の再確認及び承認について】

基本理念について、前回出された意見に基づき整理した事務局の提案に対し、「(5) 災害時にも頼りになる学校」に、今年の夏の記録的豪雨による水害も考慮して、「水害」の文言を入れることとし、委員からの承認を得た。

②【配置計画の提案と審議について】

事務局より校舎棟と校舎以外で大きく分け、計16通りの案が考えられるが、代表的な4つの案を組み合わせ提示し、審議を行った。

配置計画について

(駐車スペース)

○ 駐車スペースでB案は40台それ以外は62台とあるが、全ての来客をまかなえるわけではない。現在、精華中学校の場合第1グラウンドをイベント等の時に駐車場に利用しており、周辺地域のことを考えると少しでも駐車スペースは多い方が良いと思う。

車と生徒の出入りはわかれている方が安全と思う。

⇒(事務局) 来客用駐車場のスペースは多く取りたい。車と生徒の入り口は別としたい。

○ 来客用には儀式的な行事での駐車場の利用が多い。オープンスクール、収穫祭等ではグラウンドに駐車している。

保護者はほとんど車で来ており駐輪場の利用が少ない。生徒の通学での自転車利用は現状109台なので広い印象がある。

⇒(事務局) 駐輪場については生徒数が増加した時や保護者の利用を加味している。

○ 保護者には行事の際、車での来校を禁止していないが、遠慮いただくようお願いしている。雨の日やイベントの日に車で来校される際、周辺に車を停められることがある。周辺住民に迷惑をかけるので、控えていただく

よう啓発をしている。

⇒（事務局） 現状、グラウンドが2つあった関係で、イベントの際は、第1グラウンドを使用されているが、今回の改築でそのスペースが無くなる。

駐車場は通常時の使用と考え、イベント時には車での来校を控えていただくよう啓発し、役場の駐車場の利用も検討して頂きたい。

○ 精華中学校の校区は小学校の校区が2つあり、広いので車での来校が多いと思う。

○ グラウンドがなくなることは決定事項か。他校と比べるとグラウンドが2つあるのはクラブ活動や授業の際、非常に使い勝手が良い。

グラウンドが減るとなると常時、第2グラウンドで複数の部活動を行う事となり危険である。狭くてもいいので、グラウンドを確保できないか。

⇒（事務局） 基本構想の中で議論があった。既存校舎部分に新校舎を建てることは、仮設校舎が必要となり費用的に困難。第1グラウンドに建てる方向に決定した。

クラブ活動の対応策として、小学校のグラウンドを放課後に活用したり、打越台グラウンドなどの利用も考えていかなければならないのではないか。

（中庭）

○ 中庭をイメージできる資料がほしい。

○ 小学校の中庭をイメージしてしまうと活用する方法は思いつかない。一定の大きさのスペースとして存在するとなると、多目的に使えると思う。

⇒（事務局） 今回、中庭の資料は用意していない。一つの案としては、中庭に全面芝生をすれば色々な使い方ができる。今回は配置計画が主な議題なので、次回以降に配布する。

○ D案の中庭は広く、多目的に使えるような感じがする。どのくらいの大きさか。

⇒（事務局） D案では、約1,800㎡程度（45m×40m）。

○ 中庭がバスの発着場として利用できるのは、バスの発着で周辺住民に迷惑を掛けているので良い。中庭には実用的なものを配置し有効に活用できるようにしていただきたい。

（テニスコート）

○ テニスコートが新設・既存合せると4面ほどあるが、そこまでの使用頻度はあるか。

○ 2面で充分。部員の数と女子だけを考慮すると4面は必要ない。

- テニスコートには高いフェンスが必要となるが、敷地中央にあると使いにくいと感じる。
- 既存のテニスコートはいびつな形状をしている。テニスコートが充実することはありがたい。配置（案）にテニスコートが点在しているのはなにか意味があるのか。
- テニスコートの充実について構想等があるのか。
 - ⇒（事務局補佐） テニスコートについては、既存の位置を示している。基本構想策定案の配置図を基にテニスコートを考えている。各用途の配置が決まり次第、他の施設の配置について提案する。
- テニスコートの地域開放での利用状況は、現在のところ利用はないが、新しくなれば開放も考えられる。

（武道場・プール）

- 武道場やプール等の配置について、近隣住民への配慮があるのか。駐車場は必要だが、それよりも子どもたちの毎日の活動するスペースの確保の方が重要。駐車場・駐輪場は敷地の隅にでも配置してもよい。
- 武道場を体育館の北側へもっていけるか。
 - ⇒（事務局） 周辺への影響を考えると難しい。武道場は2階建ての構想をしている。2階部分に剣道・柔道をできるスペース、1階部分には多目的スペース・コミュニティ・災害時の避難所・選挙の投票所など開放施設としての利活用を考えており、周辺への影響と敷地奥への配置では不便と思われる。プールの配置も含めて、検討を行う。

（正 門）

- 正門を南側に設ける案について、通学圏は北側の多くあるので、生徒はほとんど東側から入ってくるがどうか。
 - ⇒（事務局） 南側に正門を設けたのは、第2グラウンドとの一体感と、学校で利用するバスを入れることも考えている。東門側から昇降口が遠くなるとの意見については、回りこまなくても良い配慮を建物で行うことも検討できる。門を入れてすぐ入り口というよりもゆとりを持った配置計画としたい。通学圏の位置とは反する部分もあると思うが、本委員会で検討して頂きたい。
- 東側から入っても校舎北側から校内に入ることのできる工夫を取ること、正門からのグラウンド・東門・北側のテニスコート等へのアクセスが容易になる。

(クラブボックス)

- 既存のクラブボックスについて、老朽化しているので考慮してほしい。
⇒ (事務局) クラブボックスについては、現状を確認して必要な改修を行う。

(スペース・ランニング通路)

- 現状、施設等が分散し無駄なスペースが多い。施設配置をまとめて生徒が活動できるスペースがほしい。
⇒ (事務局) 生徒の活動するスペースを中心に考え、意見をなるべく反映していきたいと思う。そのスペース(グラウンド)に関しては、球技は難しい。ランニング等のスペースは可能。
- 校舎周辺をランニングできる施設の整備案はとても良い。第2グラウンドに部活を集約すると他校と比べて非常に狭い。また、他校のグラウンドの使用については往復に時間を要する。生徒の学校生活の中で部活動は大きなウエイトを占めるので、できるだけ学校の敷地内で活動できるスペースを確保していただきたい。今より使いにくくなるのは避けてほしい。
- 配置図の中で、空白の部分が多く見受けられるが、多少移動して配置することは可能か。
⇒ (事務局) 配置変更は可能。しかし、現状の地盤を変更することは極力避けたい。可能な部分についてはできる限り検討したい。今後、具体的に配置計画していく。
- 行事等のために駐車場を確保するよりも、生徒の活動できるスペースを作っていただきたい。校舎の中庭に何にでも使用出来る空間を作り、校舎北側の絶好の位置に常時使わない駐車場のために敷地の確保をするようなことは避けていただきたい。

建物等(施設)について

- 敷地内の土間の仕上げは全てコンクリートか。
⇒ (事務局) 全てコンクリートとは考えていない。維持管理は容易と思われるが、一定の緑は配置する予定。
- 建物は鉄筋コンクリート造か。
⇒ (事務局) 鉄筋コンクリート造である。
- 多目的ホールの面積は。なぜこの位置に多目的ホールを配置した。
⇒ (事務局) 前回の意見から、教室2つ分の大きさを確保し、一学年が集まって小集会できるくらいのもを考えている。
- 地域的な利用を考えているのか。
⇒ (事務局) 考えている。

- 武道場の1階部分を同じ様に利用する考えについて、どの施設をどのようにして使用していくかを明確にしてほしい。
⇒（事務局） 前回、川西小学校の例を挙げて、間仕切り出来るようにと考えている。意見については出来るだけ反映させたい。
日常、生徒だけが使うとは限らないので、シニアスクールの利用という点でも考えている。
具体的な使用については学校側とも協議していく事になる。当然、地域の利用ということも考えている。
- 昇降口の利用について、生徒と訪問者の入り口は分けた方が良くと思う。障害者用のスロープやエレベータも必要。
- D案のみに畑があるが、必ずどこかには確保したほうが良い。

配置計画意見整理について

- これまでの意見をまとめると、校舎の北側に駐車・駐輪場やテニスコートを配置するよりも、第2グラウンドとして整備し、その他の空間に駐車・駐輪場及びテニスコートを配置する様、無駄をなくした配置計画とする。

提案施設について

- ツイン廊下の使い勝手、課題について分かることがあれば示してほしい。
⇒（事務局） 事例視察先として木津南中学校へ見に行つて現場の声を直接聞いていただいたほうが良いと考えている。
- 木津南中の生徒数は。また、ツイン廊下型のメリットは。
⇒（事務局） 生徒数は今は少ないです。120～130mの直線の建物です。メリットは、スペースを圧縮し、真ん中にコア部分と言われる水回り・階段等を集めることができます。限られた敷地内で配置するにはいい案と思う。
設備の面でも集中しているほうが維持管理しやすい。
- 木津南中学校の校舎の写真にある階段の手摺はもう少し高くしたほうが良いと思う。安全面からガラスはなるべく少ないほうが良いと思う。
⇒（事務局） 基本理念にありますように自然環境を取り込む、通風・採光等を取り入れた建物を考えている。
- 自然エネルギーの利活用は必ず入れておいてほしい。

施設計画まとめ

- 配置計画としてはD案を中心とし、スペースを有効利用する。
ツイン廊下型で計画を進め、視察先を見学して駄目なようであれば考えなおす。

③【施設構成の提案と審議について】

- 事務局より資料の説明を求める。
 - ⇒ (事務局) 各教室名を書いた資料を配布。

平成 23 年度に策定した、精華中学校校舎改築基本構想策定報告書 P13 から抜粋したもの。以外の施設についても議論をしていただきたい。
- 視聴覚室・書道室・特別活動室は他と兼ねれば必要ないと思われる。

和室については使用頻度が低いと思う。
- 精華西中学校での経験から考えると、精華西中学校と同じ広さならば普通教室は狭いと思うので、もう少し大きくした方が良い。
- 教室について、生徒用のロッカーも含めての大きさか。

ロッカーは必需品なので、出来るだけ大きい物を必ず設置してほしい。

 - ⇒ (事務局) 教室は間口側を 9m、奥行きを 7.5m を考えている。
- シニアスクール(特別活動室)は控え室と使用室の現在と同じく 2 部屋必要。
 - ⇒ (事務局) 学校運営上、学校側と協議の上、決定。
- 和室は不要と発言があったが、シニアスクールで茶道や華道をされているので、特別活動室の中にそういう用途に使用できるようにしていただきたい。
- 茶道・華道の部としての活動はないが、シニアの関係で教室がある。兼用が出来れば一番いいと思う。
- 川西小学校のように、間仕切りが出来れば多目的に利用できて一番いいと思う。
- 不要とする教室の代わりに何の教室になるのか。
 - ⇒ (事務局) 補助金の関係もあり、直ぐには明確に返答できない。
- 特別教室で使用頻度からして使わない教室を普通教室に転用できるようにできないか。
 - ⇒ (事務局) 将来の転用を見越した中身でということでは、将来的に必ず生徒数が増加するというのが見込めないのが難しい。
- コンピューター室ができてくると視聴覚室の使用頻度が少なくなるので、視聴覚室の転用は考えられないか。
 - ⇒ (事務局) 視聴覚室は敢えて外してよいのであれば外す計画とする。
- 書道の授業は教室で実施している。
- 筆を洗う水回りについては廊下の手洗いで行なっている。
- 特別に必要でない教室は省くという形でよいか。
- 生徒会室は広過ぎるのではないか。

- 半分で良いと思う。
 - 職員更衣室の広さは教室の半分で充分だと思う。
 - 現在の職員数は全て入れると 34 名です。
⇒ (事務局) 将来増築した場合を見越して職員室にも余裕を持たせる計画とします。
 - 休憩室と更衣室を兼ねる事はできるか。
⇒ (事務局) 出来ると思う。
 - 理科室と音楽室の数は授業の関係からすると理科室は 2 室必要。音楽室は吹奏楽部があるので、1 室は必ず必要。
⇒ (事務局) 理科室は 2 室、音楽室は 1 室、美術室・技術室・調理室・被服室・コンピューター室で計画する。
被服室については学校で議論して頂いて、叩き台のプランには入れておく。
 - 必要な教室については次回への宿題とする。
 - 会議室について、大人数と少人数で行う場合があるので会議室と小会議室が必要。
⇒ (事務局補佐) 可動間仕切りで仕切ってはどうか。
 - 会議の内容によっては、ひとつの部屋で出来ない会議もあるので、複数の部屋が良い。
 - 相談室を会議室として流用できないか。
 - 相談室は不登校生徒やスクールカウンセラーでフル稼働している状態なので無理。
 - 相談室は防音されるのか。色々な部分でカウンセラーや利用している生徒の話を聞くと防音であるほうがメンタル面としては好ましい。
⇒ (事務局) 相談室の位置的なこともあるが、検討課題の一つとする。
 - 精華中学校の歴史がわかるようなものを部屋としてではなくても、又は廊下でもいいのでどこかに入れて欲しい。
- ④【事例視察先の提案と審議】
ツイン廊下タイプがある木津南中学校とする。

4. 第 3 回委員会の日程について

平成 24 年 12 月 19 日 (水) PM1 : 30 から

町立図書館 1 階集会室で開催。その後事例視察先に向かう。

※ 精華中学校の生徒を会議に入れるのは計画が固まってからとし、次々回以降とする。

5. 閉 会